

平成 29 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	1 2	講習名	【選択】特別支援教育講座B－知的障害・肢体不自由等の理解と支援				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
林 優子 島谷 康司 玉井 ふみ 古山 千佳子	三原 キャンパス	6時間	教諭 養護教諭	50人	講義	筆記	
開催日	8月18日(金)		予備日	8月25日(金)			
<p>【到達目標】 知的障害、肢体不自由などの主に中枢神経障害に対する医学・リハビリテーションの基本的な知識とそれに基づく適切な支援方法について理解する。</p>							
<p>【講習の概要】 本講座では、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する教員が、知的障害・肢体不自由等に対する最新の医学的知識や姿勢・運動、コミュニケーション、問題行動（不適応行動）への支援方法について、教育現場で生かせるように具体的に解説する。</p>							
<p>【講習の内容】</p> <p>講義 1：中枢神経障害の基礎知識（担当：作業療法学科 小児神経科医 林 優子） 特別支援学校に在籍する子どもたちを理解するために、基本的な中枢神経障害の診断と病態像の捉え方をまず解説する。次に、それぞれの子どもたちが身体的にも精神的にも安定して成長発達するために、学校での必要な観察点や適切な対応方法について、医学と教育の連携の視点から解説する。</p> <p>講義 2：姿勢・運動への支援（担当：理学療法学科 理学療法士 島谷 康司） 発達の基礎を理解したのちに、脳性麻痺を中心にリハビリテーションの基本的な考え方と、具体的なリラクゼーションの方法・姿勢のコントロール・歩行（移動）支援・呼吸の介助・車椅子や座位保持装置の使用方法などについて、その考え方を解説する。</p> <p>講義 3：コミュニケーションへの支援（担当：コミュニケーション障害学科 言語聴覚士 玉井 ふみ） 言語・コミュニケーションの発達とコミュニケーション障害のとらえ方について解説する。次に、子どもの障害特性や発達段階に応じた言語・コミュニケーションの支援の考え方と実際について事例を提示しながら紹介する。</p> <p>講義 4：不適応行動に対する支援（担当：作業療法学科 作業療法士 古山 千佳子） パニックや自傷、自己刺激行動等、学校生活で見られることの多い不適応行動についての基本的な考え方について概説する。次に具体事例を提示しながら、その理解と支援の実際について講義する。</p>							
<p>【備考】 試験の際には講義資料及びノートの持ち込みを認めます。 希望者には、昼休憩時に附属診療センター見学を実施します。</p>							